アジア太平洋地域におけるSDG投資情報マップ

2021年12月

SDG投資情報マップとは？

- 各国の国家政策や開発ニーズに沿った、SDGs達成につながる**投資有望領域を探る**
- コロナ禍の影響に**対処するための、エビデンスに基づいた解決策を提示**
- 政府が求める **民間連携の機会**や新たな資金動向についての知見共有

- **革新的な資金調達に向けた対話**を促進することで、各国の開発の取り組みを支援

- **民間・金融セクターのネットワーク構築**のためのプラットフォームを提供

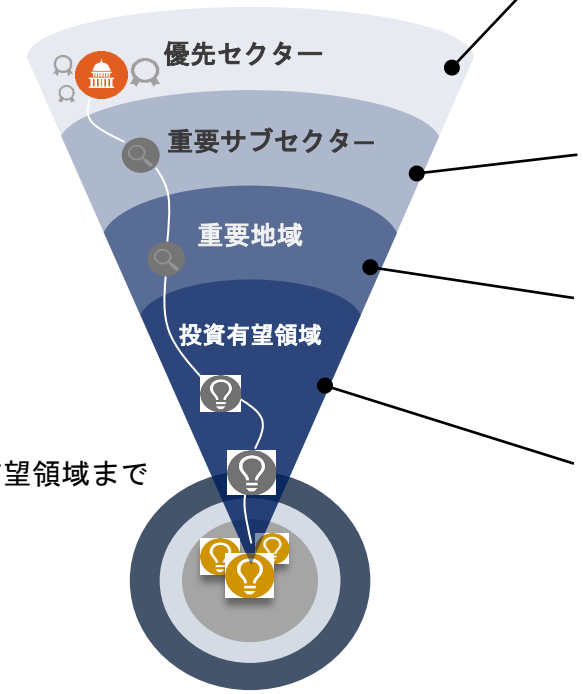
- **UNDPのネットワークを活用**し、国際金融機関、国連、政策立案者が集い
  協力関係を強化する機会を提供

- 新しい**資金調達**とブレンド・ファイナンス（Blended Finance）のための知見共有

SDG投資情報マップを用いてSDGs達成につながる投資有望領域を探す

投資有望領域の探し方

国内経済・社会開発優先課題から...



...投資有望領域まで

出発点として、国内優先課題を明確化

開発および投資を確実に刺激するような、政治・財務的コミットメントがある分野を明確にするため、国家の開発ニーズおよび政策優先課題を抽出し、比較

注目すべき重要なサブセクターを探る

開発ニーズおよび政策・投資面で勢いのあるサブセクターを優先

注目すべき重要地域を割り出す

各サブセクター内で高い開発ニーズがあり、かつ政治・財務面においても、サブセクターの潜在的成長を刺激するような勢いのある地域を割り出す

具体的な「投資有望領域」を抽出

インパクトを生みそうなビジネスモデルのうち、新規資金により規模の拡大を促すことができる優先セクターおよび地域内のものを重視し、かつ、新規ビジネスモデルのニーズが最も高い潜在的な「ホワイト・スペース」を探す

注：この4段階の手法から、より詳細な8段階の手法を開発済み。
二次調査や、投資家・企業・政府・その他関連する様々なステークホルダーへの聞き取りや協議などに基づいて実施される。

全てのプロセスは公的機関・民間の幅広いステークホルダーとの**協議に基づいて実施**

アジア太平洋地域におけるSDG投資情報マップ作成国

2カ国
完了

7カ国
進行中

3カ国
作成予定

SDGs達成に関連性の高いセクター：アジア太平洋地域の新たな傾向

セクター	サブセクター	直接関連する目標	アジア太平洋地域との関連性
食料 ・ 飲料 [農業]	・ 加工食品 ・ 食品小売業者および流通業者 ・ 農産物 ・ 食肉・家禽・乳製品	 SDG 2 [他の目標との高い関連性]	アジア太平洋地域の9か国中8か国がこれらを優先分野に特定
保健医療	・ バイオテクノロジーと医薬品 ・ 医療提供システム ・ 医療機器および医療用品	 SDG 3 [他の目標との高い関連性]※	
教育	・ 正規教育 ・ 教育のためのテクノロジー ・ 教育資金	 SDG 4 [他の目標との高い関連性]	
インフラ	・ 不動産 [気候変動に強く手頃な住宅] ・ 廃棄物の管理 ・ 水道事業とサービス		
再生可能エネルギーおよび代替資源	・ 太陽光発電技術及びプロジェクト開発者 ・ 水処理技術及びプロジェクト開発者	 SDG 7 [他の目標との高い関連性]	
金融	・ 消費者向け金融 ・ 保険	多数の目標との高い関連性	同地域の9か国中7か国がこの分野に優先的に取り組む

全体を貫くテーマ：

技術/デジタル化

&

ジェンダー/疎外

※インドネシアのSDGsロードマップにおいては、SDGsのそれぞれの目標は相互関連性が高く、他のSDGsターゲットの達成にも影響を与え合うと示しています。

投資有望領域の基礎：ビジネスとインパクト関連の20の実用的データポイント

セクターと地域 セクター・サブセクター・優先地域	セクター	サブセクター・関連産業	対象となる地域			
供給可能な投資機会 ビジネスモデル・事例	ビジネスモデル	ケーススタディ（国別の事例）				
ビジネスケース（投資対効果） ビジネス指標と市場リスク	市場規模と投資環境	参考リターン値	投資の時間軸	投資金額規模	市場リスクと市場規模拡大の障害	
インパクトケース（社会的効果） インパクト指標、インパクトリスクおよびインパクト分類	持続可能な開発の必要性	期待される開発のアウトカム	SDGsとSDG指標	影響を受けるステークホルダー	アウトカムとインパクトリスク	IMPインパクトによる分類
ビジネスを可能にする周辺環境 関連政策、規制、金融、ステークホルダー	政策環境	規制環境	金融環境	その分野で積極的なアクター		

SDG Impact

UNDP

インドにおける投資機会の事例

郊外立地の低コストなサテライト医療サービス・小規模ケアセンター

ビジネスモデル：技術を活用し、低リソースで、拡大可能なサテライト医療サービス・小規模なケアセンターを、地方都市や村に設置。高品質の医療サービスを低コスト・利用しやすい形態で展開する。

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING

全ての人に
健康と福祉を

改善すべき開発課題

- インドの病床数は879人当たりにつき1病床 世界平均の3分の1の水準
- 基本的な医療を受けるために多くの人が100キロ以上を移動

期待される開発のアウトカム

- 利用しやすく**高品質で手頃な価格の医療サービスを**提供
- 医療部門における**雇用の創出**
- **格差是正**

影響を受ける人々

- **直接**: 十分な公的医療サービスがない地域の患者
- **間接**:資金難にある公的医療サービスの負担を低減し、医療の選択肢を拡大

IMPによる分類

IMPACT MANAGEMENT PROJECT

C:「SDGs課題への貢献」対象者の医療サービスの利便性と質が向上し、問題解決に貢献し得ると期待される

経済的背景

- インドの医療ビジネスは**2023年までに1,320億ドル規模に成長との**予想
- 医療ビジネスの収益率は**5 - 15%**との予想
- 未開拓のこの事業が利益を創出するまでには**3 - 5年**が必要との推測

プロジェクトを促進する要因

- インド政府は2021 - 22年度の**医療分野予算**として前年度比137%増加となる**305億ドルを計上**
- 未開拓分野およびすでに事業化の進む分野のプロジェクトへの投資には、**100%の海外直接投資**が認められる

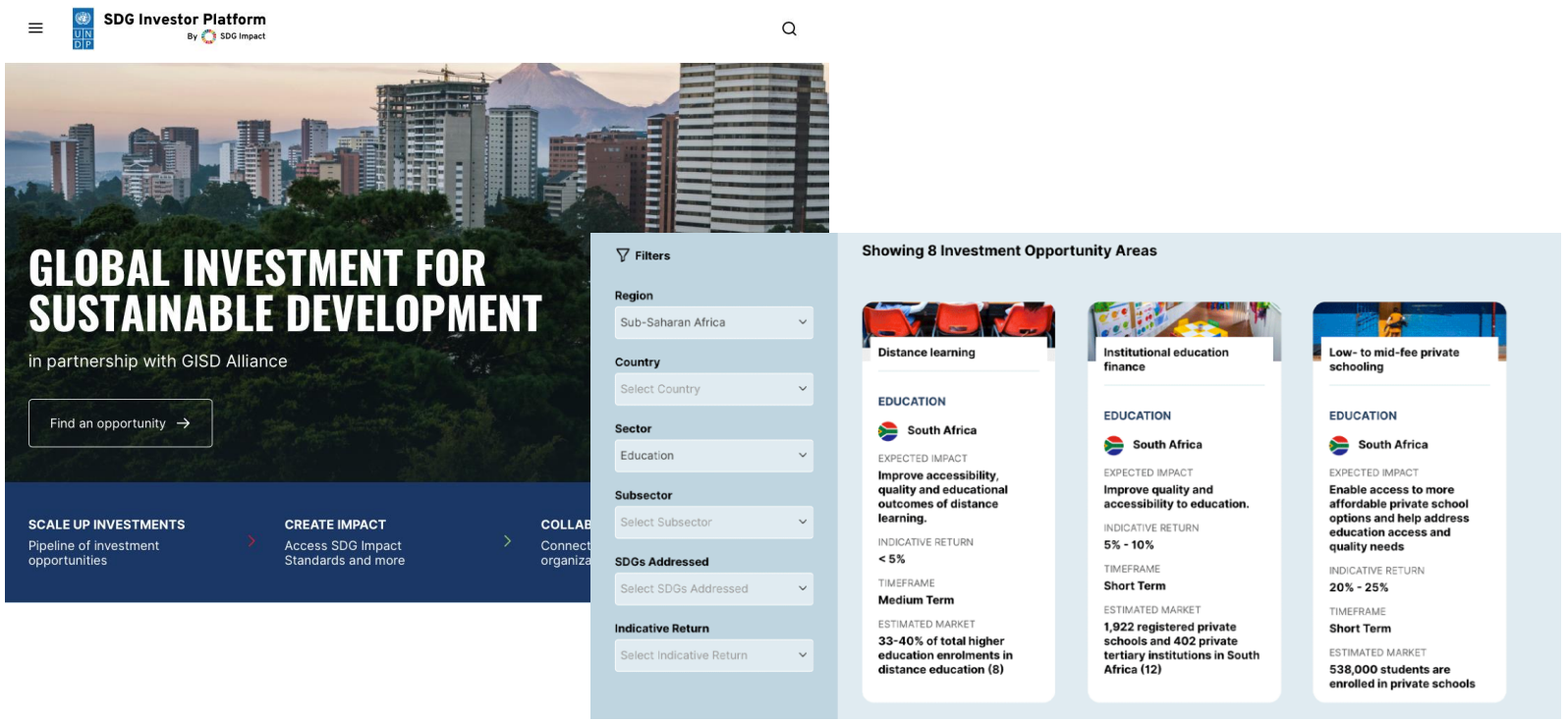
投資に必要な期間

- 都市部であっても、現在未開拓の案件が損益分岐点に達するまでには、**少なくとも3〜5年が必要**
- したがって、本モデルが必要とされる地域では、損益分岐点までの期間がより長くなる（5年以上）と予想

リスク要因

- **実施リスク**：新規事業のユニットエコノミクス（単位当たりの収益性）が未実証。効果の幅に影響が出る可能性
- **ステークホルダーの参画・外部リスク要因**：このモデルは、政府が全ての国民に基礎的医療を安価で提供すべく取り組んでいる場合に最も効果を発揮。そうでない場合、すでに民間の医療サービスを受ける余裕のある人々に限られる可能性

SDG投資情報マップから得られる投資有望領域データは SDG投資情報プラットフォームから検索可能



SDG投資情報プラットフォームは市場動向に関する情報やツールを
海外・国内の投資家に提供

SDG Impact

プラットフォームの役割

2021年4月14日より運用開始

- **SDG投資情報マップ**
  - SDGs達成につながるビジネスや投資機会の情報を探せる
  - 投資家は連携し得る現地パートナーの情報も入手が容易に

- **SDGsに資する投資機会の情報提供**
  - プライベートエクイティ(PE)ファンド向け、債券向け、企業・事業体向けSDGインパクト基準
  - デューク大学によるインパクト測定・マネジメントのオンライン研修教材
  - 持続可能な開発のためのグローバル投資家連盟（GISD） ナビゲーター

- **その他の関連するリソース**
  - 主要な国際機関やその活動に関する情報開示のためのプラットフォーム
    (例： 国連経済社会局、国連グローバル・コンパクトのCFO原則、国連環境計画金融イニシアティブによるポジティブ・インパクト金融原則(UNEP-FI)、OECD-UNDP 持続可能な開発のための資金供給に関するインパクト基準など)

アジア太平洋地域におけるSDG投資情報マップの今後の予定

1. 来年以降もアジア太平洋地域のSDGs投資情報マップの開発を継続
2. このプロセスにより、SDGsを達成するために最も政策の介入を必要とする分野や、革新的な資金調達に最も適する場所が明らかに
3. 投資家向けイベントを実施。SDG投資情報マップが提供する知見を用いてSDGs達成につながる投資テーマの構築を促進
4. SDG投資情報マップをグローバルなSDG投資プラットフォームにて提供（現在17か国分のマップを提供中）
5. SDGsがビジネスにもたらす価値を認識し、人と地球に優しい持続可能な世界を実現するエコシステムの構築に貢献

ありがとうございました